

## 一般社団法人 日本ビーチテニス連盟

名称：一般社団法人 日本ビーチテニス連盟  
 英文名称：Japan Federation of Beach Tennis  
 設立：2013年1月1日  
 会長：山田真幹 (Masamoto Yamada)  
 副会長：杉田高章 (Takaaki Sugita)  
 住所：〒107-0061  
 東京都港区北青山2-11-10 ダイヤモンドマンション1A  
 連絡先：電話 03-5772-4205 FAX 03-5772-7706  
 Email info@beachtennis.or.jp  
 URL：http://www.beachtennis.or.jp/



### 1. 歴史

ビーチテニスの日本での普及と国際、国内競技会の開催を目指し、活動してまいりました。このたび本格的活動を行う為、平成25年1月1日に(社)日本ビーチテニス協会と日本ビーチテニス連盟が統合し、(社)日本ビーチテニス連盟を設立いたしました。

日本におけるビーチテニスの歴史は、2007年に一般社団法人日本ビーチテニス協会(東京)、日本ビーチテニス連盟(神奈川)という2つの競技団体が誕生し、ビーチテニスの競技普及の活動が始まりました。その後、2013年1月1日に2つの団体が合併し、「一般社団法人日本ビーチテニス連盟(JFBT)」となり、現在のビーチテニスの競技団体となりました。

日本は立地条件に恵まれ、世界の中でもビーチテニス競技が可能な海岸が多いことで、全国各地への普及が進んで参りました。

ビーチテニス競技は、競技者のみならず、子供から年配の広い世代の方に愛され愛好者が増え、特に砂の上でのスポーツということで、関節や筋肉への負担が少ないスポーツとして健康増進に大きく寄与する可能性を秘めた競技として、今後が期待されています。

### 2. 設置目的

(社)日本ビーチテニス連盟は、日本におけるビーチテニス競技の普及・振興を図り国民の生涯スポーツとしての意識を高め、国民の健康維持のための楽しいスポーツとして一役を担い、そして、なによりこのビーチテニスにスポーツエンターテイメントとしてテニスと共にメジャースポーツとして発展することを目的としています。

### 3. 組織構成

現在、連盟本部組織として「事業本部」「普及本部」「総務・財務本部」の3つの本部から構成されています。事業本部では、国内外の公認大会のスケジュール管理やランキング管理及び大会開催団体への教育指導、指導者育成に向けた指導者講習会の開催をしています。普及本部では、全国各地でのビーチテニス普及に関するサポート、新規活動場所の開拓、全国支部連絡会の事務局業務を行っています。総務・財務本部では年間の収支予算管理及び広報、マーケティング活動の管理を適切に行っています。

その下に全国17の都道府県からなる県支部があります。

- |            |            |
|------------|------------|
| 【1】 宮城県支部  | 【10】 広島県支部 |
| 【2】 新潟県支部  | 【11】 鳥取県支部 |
| 【3】 東京都支部  | 【12】 香川県支部 |
| 【4】 神奈川県支部 | 【13】 徳島県支部 |
| 【5】 静岡県支部  | 【14】 愛媛県支部 |
| 【6】 大阪府支部  | 【15】 福岡県支部 |
| 【7】 兵庫県支部  | 【16】 宮崎県支部 |
| 【8】 和歌山県支部 | 【17】 沖縄県支部 |
| 【9】 岡山県支部  |            |

2017年に13支部が公認され、2018年に宮城県、徳島県、兵庫県、愛媛県の支部が新たに公認されました。今後も各地域におけるビーチテニスの普及の輪を広げる上で、新規支部の設置を推進して参ります。

### 4. 事業活動について

主な事業は、「事業本部」が主管する、全日本ビーチテニス選手権及び、ITF/JTA公認大会の開催、運営業務。ビーチテニスの国内における競技レベルの向上、国別対抗戦における上位進出を目標とした活動の推進事業。「普及本部」が主管する、全国へ競技普及を目的とした、ビーチテニス体験会の推進活動、県支部組織のサポート、ビーチテニスの環境整備が我々の主なミッションとなります。

また、ジュニア世代の育成事業についても継続的な普及活動を行うことで、徐々に競技としてビーチテニスをする子供たちがでてきました。

2019年の国別選手権(ロシア)では、U14のジュニア選手を派遣させることができ、次の世代につなげることができました。今後、各地でジュニア対象の普及イベントや大会を実施し、ジュニア世代の層の拡大を図ると共に、トップ選手の発掘、育成を推進したいと思います。

### 5. 日本テニス協会との関わりについて

日本ビーチテニス連盟では、ビーチテニス委員会を通じて、日本テニス協会主催の楽天オープンビーチテニス選手権、全日本ビーチテニス選手権の準備、及び大会運営協力をしてきました。

#### ■2017年度

- ・楽天オープン ビーチテニス大会  
(10,000ドル大会・2,500ドル大会)
- ・全日本ビーチテニス選手権  
(有明テニスの森)

#### ■2018年度

- ・全日本ビーチテニス選手権 (鶴沼海岸)

また、例年7月に開催されるビーチテニス国別選手権の代表選考についても委員会を通じて、選手の派遣を行っています。



### 6. 今の日本テニスそしてテニス界について

現在、日本のテニス界は錦織圭選手や大坂なおみ選手を筆頭に若手選手が多く海外で活躍する時代になって参りました。またジュニア世代も望月慎太郎選手が男子として初めて四大大会のジュニアを制するなど、世界で活躍する選手が増えることでテニス競技を始めようとする子供たちが増えることは、我々にとっても嬉しいことです。この子供たちがビーチテニスを知るきっかけにもなり、ビーチの世界でも世界で戦う選手が増えることは競技団体相互の発展に寄与できるよう取組んで参ります。

